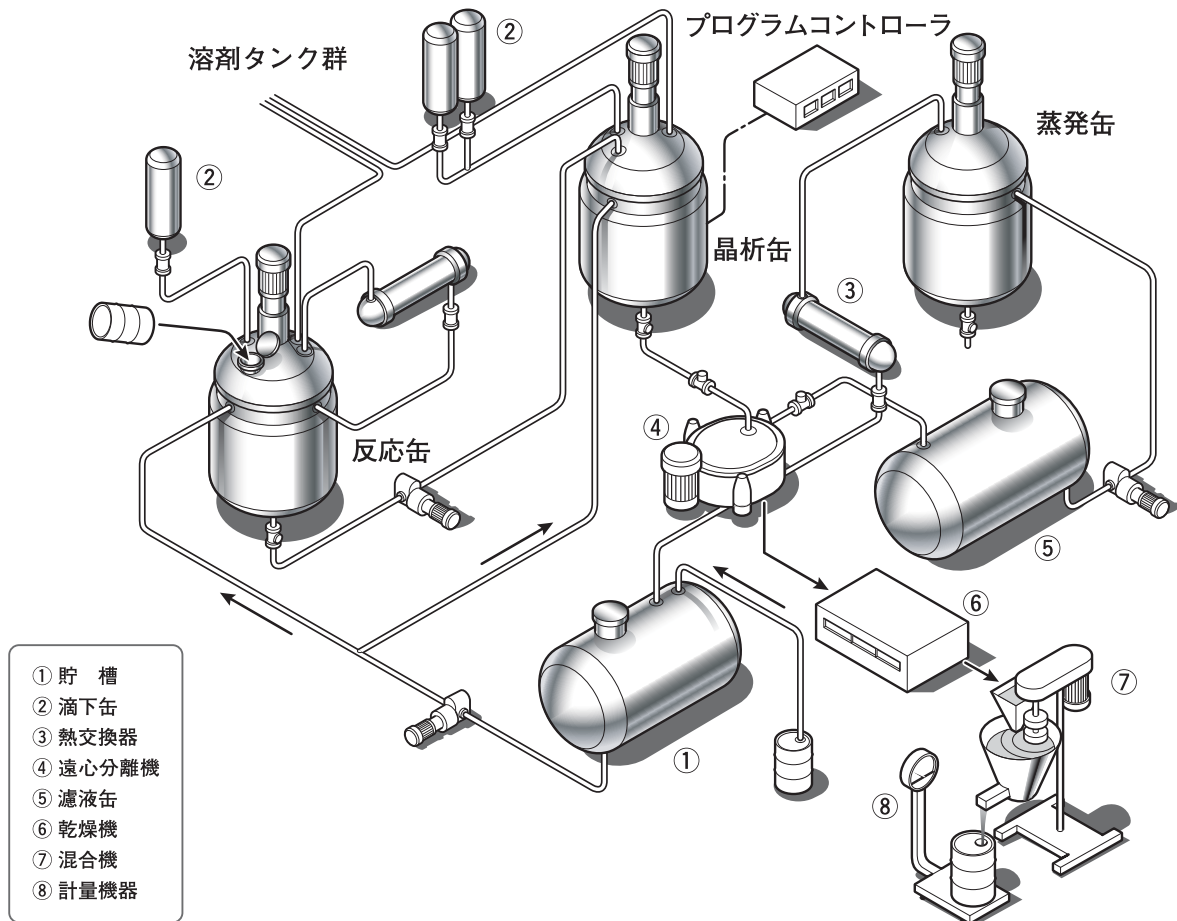


ファインケミカルシステム



■ 対象物質
医薬品、飼料添加物

■ 基盤技術
攪拌／晶析／分離精製／温度制御

■ 概要
バッチ処理を主体としたファインケミカルプラントの一例です。
原料および副原料は、反応缶で滴下されながら還流された後、晶析缶へ移送されます。ここではプログラムコントローラを用いてジャケット冷却を行い、溶剤を滴下しながら所定条件で晶析処理します。

晶析液は、遠心分離器④で湿ケーキに分離後、乾燥、粉碎整粒し、混合機⑦でロット調整して包装されます。
濾過液は、蒸発缶で溶剤回収したうえ貯槽に戻し再使用します。

■ 特長
(1) 多品種少量製造プラントで、高付加価値製品の製造に最適です。
(2) ユーザーサイドに立った設計仕様で設置、運転、メンテナンスの容易なシステムです。
(3) 液体から粉粒体まで取り扱える総合プラントです。

